

社会福祉法人尾道さつき会 尾道福祉専門学校
2018年度 第2回教育課程編成委員会会議録

【日 時】2019年3月28日(木) 14:30~16:00

【場 所】尾道福祉専門学校 セミナー室

【委 員】久保田トミ子・久保田あけみ・川原奨二・工藤博道・金子清美・豊田美絵

1. 議題 (司会・進行 教務主任 豊田美絵)

①はじめに(工藤校長挨拶)

- ・本会の目的について説明
- ・2019年度入学生について(地域別学生数), 教職員業務分掌等について
- ・退学者について報告

②卒業生の状況について

- ・就職状況等について, 介護福祉士国家試験合格率について
(委託生は現在就活中, 以外は就職先, 進学先が決定)
- ・早くから国試対策を実施, 今後も継続して早期から取り組む

③実習指導者会議・介護実習について

- ・参加施設数, 参加者人数の報告
- ・介護実習実施状況の報告(学生の実習後の感想)について資料を追加で配布

④2019年度カリキュラム等について

- ・次年度の時間割, 授業進行表, 担当科目の教員の変更を報告
- ・レクリエーション・インストラクターについて, 卒業した2年生は2名受講。
- ・2019年度も2年生3名が受講予定としている。
- ・新カリキュラムについては2021年度より実施予定, 現在は移行期間。

⑤外国人留学生について

- ・2019年度4月より1名韓国からの留学生入学予定。
- ・授業編成については生活支援技術Ⅲのみ2クラスに分けて実施の予定。
- ・人数が少ないクラスに留学生を入れて, 理解力を見ながら進めていくようにする。
- ・日本語学校の教員からのアドバイスとして, 専門用語に対する対応が必要となる。
- ・文章力について対応が必要となる可能性がある(独学で勉強していることもあるため)。
- ・ルビを付けると分かりづらくなることもあるため, 様子を見ながら資料の準備を行

う。

- ・事前に理解が必要な学生便覧や授業資料などを渡すなど予習の準備も必要となる。
- ・黒板によく使う字を記述する。

<委員意見>

- ・入学後の生活を支えること、生活用品や日本語のフォロー、マナー、アルバイト等の対応が必要となる。
- ・ルビを付けると分かりづらくなることもあるため、学生の様子をみながら行う
- ・日本語は一つの言葉のニュアンスがたくさんあるため気を付ける
- ・N2, N3レベルにも差がある
- ・アルバイト雇用にも条件がある
- ・事業所にも大学へ留学している学生がアルバイトに来ている。交流が図ればよい。
- ・EPAの受け入れから携わっている事例などを踏まえた留学生の対応について報告

⑥実務者研修の実施状況について

- ・昨年度の受講人数等の報告
- ・2019年度は2回実施予定。2回目は受講人数によっては開講しない可能性もある。

<委員意見>

- ・現時点で2019年度の募集人数が低迷している。他の研修会場も集まりが悪い様子
- ・20万円の給付金制度を必ず説明して募集に回った方がよい。
- ・三原市は就職の際に資格手当がでる。
- ・県主催の実務者研修は開催しない研修も出ている

⑦意見交換